

修了評価の方法

評価基準作成者： 喜多 記子

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) こととからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 四肢択一形式とする。</p> <p>3 出題数 択一問題 20問 (配点：1問 5点)</p> <p>4 合否判定基準 60点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 担当講師による補講による指導の上、修了評価当日に再試験を実施する。 (補講料 2,000円・再評価料 1,000円) 再評価に係る合格基準も、60点以上とする。 但し、再評価の試験回数は最大2回までとする。 最終試験の不合格者は、未修了者扱いとなる。</p>
------------	--